

発表団体紹介

川崎市消費者の会

川崎市消費者モニター修了生により自主団体として1969年設立されました。

食の安全や環境問題などについて、日々の暮らしの中で消費者の視点でテーマを取り上げ、講演会・学習会などを通して学びました。また、隔月発行の「消費者だより」を通じて広く情報提供を行ってきました。食の安全では地産地消の推奨で川崎の農業・農地の保全を要望し料理教室も実施、環境問題では、資源の有効利用に努め傘布を使った買い物袋の作り方などイベントでPRしてきました。不要になったものを必要な人に」というリサイクル・リユース観点でもフリーマーケットに出店し収益は福祉団体に寄付を行いました。2018年6月、団体ミッションの終了に伴い団体を解散。

NPO 法人グループ・ビボ

すべての女性が、安全で安心して暮らしていくことができるようにあらゆる支援を行うことにより、女性の人權、自己決定権を保障し、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的として2001年8月に設立されました。女性による女性のためのシェルターを運営。女性の保護を行い問題解決に向けた支援を行っています。

川崎の産業観光を支援する会

2010年に設立された川崎の産業観光を支援する会は、川崎の産業観光の魅力について、市民の理解を深めるお手伝いをしています。「川崎産業観光バスツアー」「はとバスの工場夜景ツアー」や「工場夜景屋形船クルーズ」ならびに、市内の小学生の社会科見学でのガイドも行なっています。また、「体験」をキーワードに公共交通機関を利用したのミニツアーを催行しています。

認定 NPO 法人ぐらす・かわさき

日々を暮らしている自分たちの大切な地域。そこを安心して豊かなところになりたいと、誰もが思っています。

しかし、その思いの前にさまざまな問題が立ちふさがります。変えたいと思ってもたやすくは変えられないことと、ひとりでは解決できないことばかりです。なぜなら市民ひとりでは解決に必要な情報を十分に持つことができず、それぞれが時間的・経済的にきびしい現実におかれているからです。そこで必要になるのが、人と人のつながりです。課題をおたがいに共有し、同じ思いの人たちが結びついて、問題の解決をめざしたい。2001年1月に設立された「ぐらす・かわさき」は、そのような思いを持つ個人やグループを多様な形でバックアップしていこうとするNPOです。

梅本 誠

長崎県出身。1978年、一橋大学商学部に入學。大學卒業後、大手廣告代理店に入社し、廣告代理業務を経験する。その後、弁護士事務所、法律の専門学校、教育関係の講師などを経験し、2007年、行政書士に合格。2008年、専修大學に入職し、社會人向けの講座KS(川崎・専修)コミュニティ・ビジネス・アカデミーの企画・運営に携わる。2015年3月、街の法律家として、相続・成年後見、創業支援(会社・法人の設立)に関することを専門に独立する。仕事とは別に、漫才・フラ・歌謡ショウ・手品・樂器演奏・民話朗読劇などの興行を行う川崎セブンスターを設立し、「笑いと歌で地域を元気に！」とモットーに、福祉施設を中心に公演活動が続ける。



(公財)かわさき市民活動センターへのアクセス
JR南武線・横須賀線・東急東横線・目黒線
武蔵小杉駅下車 徒歩3分

参加申込書【FAX : 044-430-5577】

下記必要事項をご記入のうえ、FAXにてお送りください

①氏名		ふりがな	
②住所	〒		
③電話番号		④FAX番号	
⑤所属団体名	受講料領収書宛先 団体名・個人 (いずれかを○で囲んでください)		
⑥E-mail			